

# 注目高まるeスポーツ 認知者は？ eスポーツはスポーツなのか？ 全国男女1,200人に調査

<eスポーツに関する調査（2019年版）>

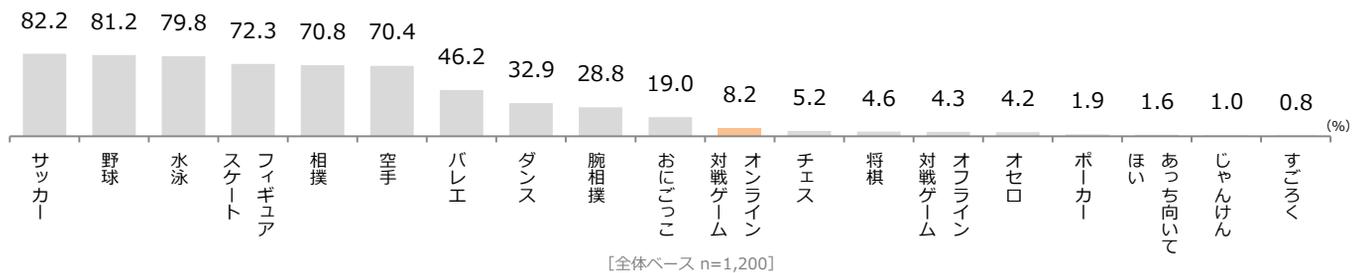
株式会社クロス・マーケティング（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：五十嵐 幹）は、全国47都道府県に在住する15歳～69歳の男女を対象に「eスポーツに関する調査（2019年版）」を実施しました。

◆自主調査レポートの続きはこちらへ ⇒ <https://www.cross-m.co.jp/cromegane/es20190912/>

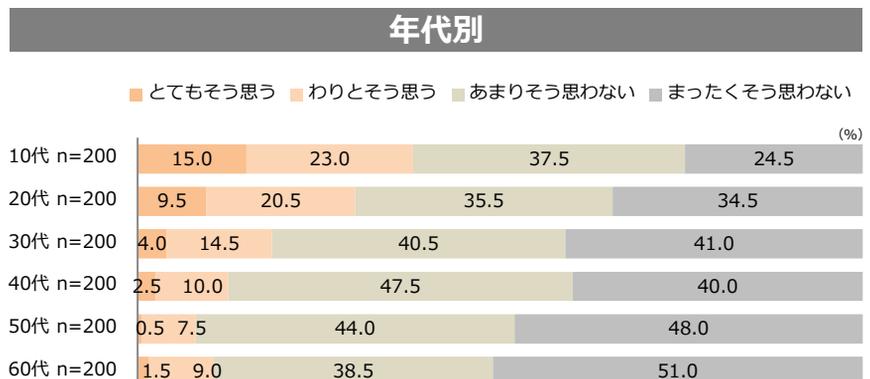
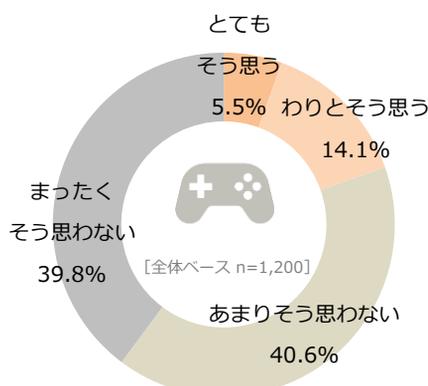
## ■ 調査結果（一部抜粋）

- さまざまな運動やレクリエーションの中から“自分の気持ちとして”スポーツだと思うものを回答してもらったと、サッカーや野球、水泳などが上位になるなか、オンライン対戦ゲームは8.2%となった。体を大きく動かす要素の低いものは下位になり、スポーツだと思わない人が多い傾向がみられた。<図1>
- eスポーツをスポーツかどうかでは「とてもそう思う」「わりとそう思う」の合計が19.6%となり、eスポーツをスポーツだと思わない人が大多数を占めた。年代別にみると若年層は高齢層よりも「スポーツだと思う」割合が高いが、それでも「スポーツだと思わない」割合は上回らなかった。<図2>
- eスポーツの認知度では「見聞きしたことはない」とeスポーツを知らない人が19.7%で、名称のみの認知者や内容認知者、大会参加経験者は合計で8割となった。eスポーツの今後の浸透・普及については「浸透・普及していくと思う」が48.0%、「浸透・普及していくとは思わない」が52.0%と約半数ずつの結果となった。ゲームを取り巻く環境や市場、人々の意識の変化などによって動向が変わっていくことも考えられる。<図3-1,図3-2>

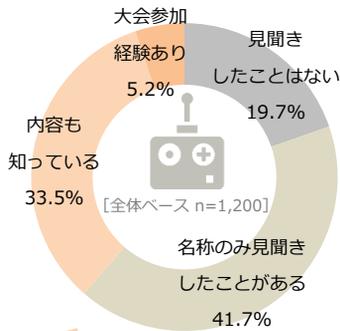
### <図1> スポーツだと思うもの



### <図2> eスポーツをスポーツだと思うか



### <図3-1> eスポーツの認知度



eスポーツ関連  
コラム掲載中

#### 『急速に注目度が高まる「eスポーツ」 プレイヤーと統括団体が語るその理由』

eスポーツを取り巻く環境や意識について、プレイヤーと統括団体の両サイドからお話を伺いました。

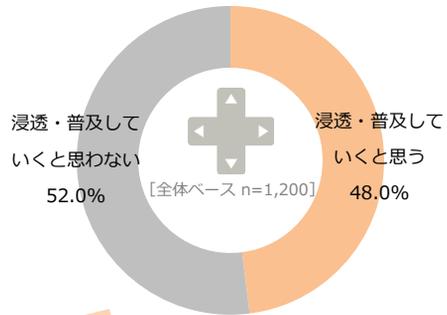
▽プログラマー 板橋ザンギエフ氏に取材

[https://www.cross-m.co.jp/column/Future\\_Marketing/future013/](https://www.cross-m.co.jp/column/Future_Marketing/future013/)

▽日本eスポーツ連合 副会長 浜村弘一氏に取材

[https://www.cross-m.co.jp/column/Future\\_Marketing/future014/](https://www.cross-m.co.jp/column/Future_Marketing/future014/)

### <図3-2> 今後の浸透・普及について



eスポーツ関連  
セミナー実施決定

KDDI総合研究所×クロス・マーケティング共創

#### 『ミレニアル世代が熱狂するeスポーツから 見えてきた新しい時代の兆し』

—常識の枠を超える『アンリミテッド』が社会を変える—

ミレニアル世代が熱狂する「eスポーツ」をテーマとして取り上げ、そこから見えてきた新しい時代の兆しを提示していきます。

▽セミナーの詳細はこちら

<https://www.cross-m.co.jp/news/seminar/20190918/>

### ■ 全調査項目

- 属性設問（性別／年代／婚姻状況／子の有無／同居者／職業・勤務形態／居住地／世帯年収）
- 普段の運動・スポーツ頻度
- 学生時代の運動の経験年数
- 趣味
- 普段ゲームをする方法／最も頻度が高い方法
- 普段のゲームプレイ頻度
- 対戦ゲーム大会の参加経験
- スポーツだと思うもの
- eスポーツの認知度
- eスポーツに対するイメージ・印象
- eスポーツの大会参加意向
- eスポーツの大会観戦経験／観戦意向
- eスポーツは「スポーツ」だと思うか
- eスポーツのオリンピック種目検討賛否
- 今後のeスポーツの浸透・普及について／その理由

◆全調査項目結果DLはこちら ⇒ <https://www.cross-m.co.jp/cromegane/es20190912/>

### ■ 調査概要

調査手法 : インターネットリサーチ  
 調査地域 : 全国47都道府県  
 調査対象 : 15～69歳の男女  
 調査期間 : 2019年6月11日（火）～6月12日（水）  
 有効回答数 : 1,200サンプル

※調査結果は、端数処理のため構成比が100%にならない場合があります

### ■ 会社概要

会社名 : 株式会社クロス・マーケティング <http://www.cross-m.co.jp/>  
 所在地 : 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー24F  
 設立 : 2003年4月1日  
 代表者 : 代表取締役社長兼CEO 五十嵐 幹  
 事業内容 : マーケティングリサーチ事業

### ◆ 本件に関する報道関係からのお問い合わせ先 ◆

広報担当 : 東海林(しょうじ) TEL : 03-6859-2252 FAX : 03-6859-2275  
 E-mail : [pr-cm@cross-m.co.jp](mailto:pr-cm@cross-m.co.jp) お問い合わせ : [https://www.cross-m.co.jp/cromegane/cromegane\\_media/](https://www.cross-m.co.jp/cromegane/cromegane_media/)  
 ≪引用・転載時のクレジット表記のお願い≫  
 本リリースの引用・転載時には、必ず当社クレジットを明記いただけますようお願い申し上げます  
 <例> 「マーケティング・リサーチ会社のクロス・マーケティングが実施した調査によると・・・」